

様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・交付金事業の拡充により、過疎地域の振興が期待されるが、他事業との効果的な連携のための計画が不十分である。

○外部環境の変化

・若年層の慢性的な流出等による人口減少や高齢化が進行し、集落機能の低下や産業活動の停滞が指摘されている。また、防災機能としての避難経路や公共施設へのネットワークの維持向上が必要となっている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・定住・交通条件の整備、地域に応じた産業振興、社会的サービスや集落機能の維持を可能とする持続可能な地域づくりのため、計画に基づく効果的な道路整備が必要である。

・他事業との効果的な連携のための計画の構築が必要である。

4 取組の改善案 (Action)

・各市町村の他事業とも連携した道路事業が展開されるよう、引き続き、情報提供に努めると共に、ヒアリング等の機会を活用し、取り組み状況を積極的に確認して事業効果の発現を促進するための助言を行う。

・他事業との連携のための計画の構築を図るよう指導し、事業効果の発現を促進する。

・事業実施市町村に対し、新たな取り組みや類似事例の情報提供を行う。